

ISBN規格改定への対応案

＜業界オンライン標準データフォーマットについて＞

2006年9月

(社)日本出版取次協会

1. はじめに

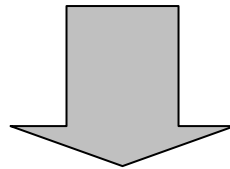
- 2007年1月よりISBNの規格が改定されます
- 現行の10桁が13桁に拡張され書籍JANの1段目と同一になります
- これに伴い新出版ネットワークで使用している「業界オンライン標準データフォーマット」にも影響が発生します
- 新ISBNへの対応案についてご説明させていただきます

2. 13桁対応の問題点

- 「業界オンライン標準データフォーマット」上の商品コード欄は10桁分しか確保されていません
- 商品コード欄を13桁に拡張すると、全体のレイアウトが大きく変わる為大幅なプログラムの修正が発生します
- 2007年1月からの実施に間に合わせるには限られた時間の中で対応する必要があります

3. 基本的な考え方

- 限られた時間の中で対応できる負担の少ない方法
- プログラムの切替え時期を柔軟に調整できる方法
- 出版社様、取次会社とともに個別の特別対応を必要としない方法



現行フォーマットを変更しないで対応する方法を考える

4. 出版社様→取次会社のISBN設定方法案 (在庫データ、納品データ など)

■ 以下のいずれかの方法で商品コードにISBNを設定する

①システム上旧ISBNコードで管理される出版社様

例) 4-949999-08-7 → 4949999087 (従来通り)

②システム上新ISBNコードで管理される出版社様

例) 978-4-949999-08-3 → 4949999083

又は

494999908△ (左詰めで10桁目は空白)

※商品コード区分欄は‘1’ (ISBN) のまま現行と変更ありません

5. 取次会社→出版社様のISBN設定方法案 (発注データ など)

- 商品コードに従来通りの旧ISBNを設定します

例) 4-949999-08-7 → 4949999087 (従来通り)

【出版社様の対応例】

- ①システム上旧ISBNコードで管理される出版社様

そのまま自社システムに接続できます

- ②システム上新ISBNコードで管理される出版社様

新ISBNへ変換後に自社システムに接続して下さい

例) 4949999087 → 978-4-949999-08-3

(先頭に978を挿入して最後のチェック数字を再計算する)

※商品コード区分欄は‘1’ (ISBN) のまま現行と変更ありません

6. 本案のメリット

- 今後も当面はシステム上旧ISBNで管理される出版社様、取次会社が多いと予想される為、その場合のプログラム修正の負担が少なくて済む
- システム上新ISBNで管理される出版社様、取次会社も比較的簡便な方法で対応できる
- 2007年1月以前にプログラム修正を行っても影響が少ないので、切替え時期が比較的自由に調整できる（事前に出版社様と取次会社との調整は必要です）

7. 最後に

- 本提案の方法で各社問題無く対応が可能か、ご検討をお願いします
- 並行して、13桁ISBNへの完全対応も含めた新フォーマットの研究を進めていきます

<ご検討結果確認シート> FAXシート兼用

- 本提案内容についてご検討頂いた結果をご回答頂きますようお願いいたします

A ・ この方法で問題ない

B ・ この方法では問題があるので別途打合わせを希望

取引コード _____ 社名・所属

お名前 _____

TEL

A・Bいずれかを選択の上、10月6日までに下記までFAXにてご回答願います

(社)日本出版取次協会 事務局 行

FAX 03-3291-6765

※この用紙をそのままお送り下さい